



2024年1月16日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヘ リ オ ス
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 CEO 鍵 本 忠 尚
(コード番号：4593 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 CFO リチャード・キンケイド
(TEL：03-4590-8009)

培養上清活用に向けた共同研究に関する基本合意書締結のお知らせ

当社とAND medical group（本社：東京都港区、代表理事：草野正臣、<https://and-mg.com/> 以下、「AND medical社」と言います。）は、当社の保有する技術及び培養上清の活用を目指した共同研究に向けた基本合意書（以下、「本合意書」と言います。）を締結しましたのでお知らせします。

記

1. 本合意書の概要

本合意書は、AND medical 社が行う新たな治療法に関して当社が再生医薬品の技術及び原材料を提供する共同研究を主たる内容とした契約（以下、本契約と言います。）に関し、当事者間の合意事項を確認するため締結するものです。本契約期間において当社は、共同研究費として1億8,000万円を受領します。両者は、本合意書に基づき引き続き本契約締結に向けた交渉を行います。

今回の合意にあたり、当社代表執行役社長 CEO 鍵本忠尚は、次のように述べています。「当社の再生医療等製品の生産量が三次元培養で増えるにつれて、様々な培養上清が大量に出てまいります。この度、この様な原材料の活用に関する共同研究を開始する運びとなりました。この活動は当社のビジョンである「世界中の患者さんに治癒と希望を届ける」に合致します。更に、早期に売上を上げることで、当社の財務体質の強化と共に有効な資源活用を目指してまいります」

2. 相手先の概要

(1) 名 称	一般社団法人 AND medical group
(2) 所 在 地	東京都港区六本木7丁目14番7号六本木トリニティビル6階
(3) 代表者の役職・氏名	代表理事 草野 正臣
(4) 事 業 内 容	医療・福祉・介護サービスの提供
(5) 資 本 金	—
(6) 設 立 年 月 日	2020年7月21日
(7) 発 行 済 株 式 数	—
(8) 決 算 期	6月
(9) 従 業 員 数	145名（2023年6月1日現在）
(10) 大株主及び持株比率	—
(11) 当事会社間の関係	

資 本 関 係	該当事項はありません。		
人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	該当事項はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(12) 最近3年間の経営成績及び財政状態 (千円)			
決算期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
純 資 産	903	11,231	30,787
総 資 産	53,732	237,576	1,918,324

注：社団法人においては、株式の発行及び資本金の出資がないため、該当欄を「－」で記載しています。

3. 本合意の日程

決 議 日 : 2024年1月16日

基本条件合意書締結日 : 2024年1月16日

4. 今後の見通し

本合意書締結による当社連結業績への現時点での影響はありません。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

■一般社団法人 AND medical group について

当法人は、全国 19 拠点（2023 年末時点）でクリニックを運営する総合医療グループです。2020 年に設立し、美容皮膚科・美容外科・形成外科・泌尿器科を展開、また傘下の再生医療等提供機関において、幹細胞を用いた再生医療分野への取り組みも始めています。

当法人は、人それぞれが持っている異なる性格・好み・価値観により、様々な「美」があると考え、性別や年齢・国籍などを問わず、「自分らしい美の追求ができる」クリニックを目指し、患者様の外見に対する不満やコンプレックスを軽減できるよう、様々な医療サービスを提供しています。

今後、再生医療分野においては、この度の株式会社ヘリオスとの共同研究を推進し、安全性と治療効果について、国が求める水準の科学的な検証を実施した上で、幹細胞を用いた治療法の確立、培養上清を活用した化粧品及び医療用製品の製造により、さまざまな疾患領域へ期待される幹細胞治療の可能性を追求してまいります。

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の罹患者に対する新たな治療法として期待されている分野であり、製品開発・実用化へ向けた取り組みが広がり、近い将来大きな市場となることを見込まれています。ヘリオスは、iPS 細胞（人工多能性幹細胞）等を用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011 年に設立、2015 年に株式上場（マザーズ-現東証グロース:4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。独自の遺伝子編集技術を用いて免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPS 細胞、ユニバーサルドナーセル（UDC: Universal Donor Cell）を作製し、がん免疫領域、眼科領域、肝疾患等において、iPS

細胞技術を用いた新たな治療薬の創出のための取り組みを進めています。iPS 細胞由来の再生医療等製品としての第一候補である HLCN061 は、固形がんに対する殺傷能力を遺伝子編集により強化した次世代の NK 細胞 (eNK[®]細胞) 治療薬です。また、体性幹細胞再生医薬品を用いて日本国内における脳梗塞急性期および急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) に関する治験を実施し、申請に向け規制当局との協議を進めています。

<https://www.healios.co.jp/>